

## 国際会議から

## マルチボディダイナミクスに関する国際会議 (ECCOMAS Multibody Dynamics Conference 2019)

本会議は、欧州の産学官の研究者間でのマルチボディダイナミクスに関する最新の手法や研究成果を共有する場を提供することを目的として、2003年にリスボンで第1回会議が開催されました。今回は9回目にあたり、歴史的に交通・物流拠点として重要な役割を担ったドイツの工業都市デュイスブルグで開催されました。

会議は4日間に渡り開催され、車両のダイナミクスと航空宇宙デバイスでの応用、バイオメカニクスなど、マルチボディダイナミクスに関する8つのセッションに分かれて発表と議論が交わされました。参加者の大半は欧米からの参加者が占め、165件の口頭発表のうち、日本からの発表は筆者を含めて4件でした。発表は学術的なアプローチによるモデル解析やモデリング手法の研究成果などが紹介されていました。



真木 康隆  
車両構造技術研究部  
走り装置研究室  
主任研究員(上級)

筆者は車輪踏面の損傷が輪軸挙動に与える影響について、数値シミュレーションによる解析結果を発表し、車輪回転にともなう損傷形状変化の影響について質疑応答がありました。

テクニカルビジットでは、世界遺産にも登録された炭鉱施設跡を見学し、当時のドイツの石炭採掘から貨車輸送に至るまでの生産技術力の高さを垣間見ることができました。



会場のデュイスブルグ・エッセン大学



マルチボディデントとよばれた昼食およびクロージング会場

正式名称：9th thematic conference on multibody dynamics 2019  
開催国：ドイツ(デュイスブルグ)  
期間：2019/7/15-18  
主催：European Community on Computational Methods in Applied Science (ECCOMAS)  
開催頻度：2年に1回  
次回開催予定：2021年7月 ハンガリー  
ホームページURL：<https://www.uni-due.de/eccomasmultibody2019/>